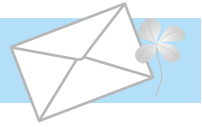


大口町地域包括支援センター便り



地域の「絆」について考えてみよう！

2020年の1年を表す漢字は「密」。新型コロナウイルスの感染を防ぐため、多くの方が密閉・密集・密接「3密」を気にして過ごした年でした。新しい生活様式の中で、オンラインによって遠くの家族や大切な人と「親密」になれた方もいらっしゃるかもしれませんが、また、外出を控えることにより、自宅で家族の「絆」を深める時間を持たてたのではないのでしょうか？

地域での「絆」

過去にこの「絆」が1年を表す漢字に選ばれた2011年は東日本大震災が起きた年です。東日本大震災から10年経過した今、ここで改めて地域での「絆」について考えてみましょう。

新型コロナウイルス感染症予防のため生活様式が多様化して、昔のような近所付き合いは難しいかもしれません。その一方、高齢者だけの世帯や独りで暮らす高齢者が増えている現実もあります。

思いやりの気持ちを「密」に

「○○さん、いつもと様子が違うかな。」「隣のおばあちゃん

最近見かけないな。」など、気にかけることも大切な見守りになります。日常から近所の方と挨拶をするなど、声をかけられやすい顔の見える関係を築くことで、災害時だけに限らず力になります。こんなご時世だからこそ、地域での「絆」を深めるために、まずは、ご近所同士の思いやりの気持ちを「密」にすることから始めてみましょう。

地域包括支援センターでは生活での困りごとや不安などの相談にも対応していますのでご相談ください。

相談および問合せ先

大口町地域包括支援センター

☎94-22227



あなたの「ありがとう」をつたえよう！

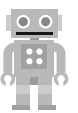
子ども会連絡協議会で募集したコロナ禍において子どもたちの誰かに感じた「ありがとう」をご紹介します。



丹羽洸太郎 2年 ボランティアの方
見守りをしたり、そうじをしたり、いつもありがとうございます。



柳瀬結斗 3年 お父さん
いつもおもちゃがこわれたときに、直してくれてありがとう。



稲垣凱士 3年 お姉ちゃん
たん生日の時、大きな二だんケーキを手作りしてくれてありがとう。



江口実花 4年 おじいちゃん おばあちゃん
いつもおいしい野菜とお米を作ってくれてありがとう。おいしいよ。



平野友陽 3年 お兄ちゃん
いつもいっしょに野球をしたり遊べて楽しいよ。ありがとう!! 😊😊



西尾紗 3年 お母さん お父さん
コロナでもかんせんよぼうをしながらはたらいてくれてありがとう。



西尾旬平 6年 お父さん
コロナの中ほくたちのために働いてくれてありがとう。

